



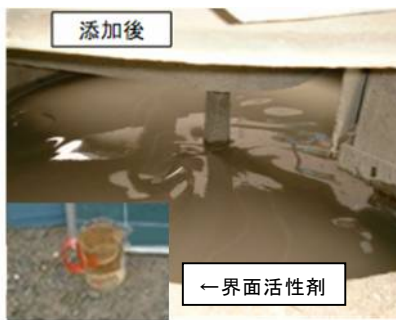
【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-51／2024年5月10日
【技術の名称】	セメント系固化材及び界面活性剤を用いた深層混合処理工法 「ファインパイル工法」
【依頼者（審査証明取得者）】	兼松サステック株式会社

【技術概要】

本工法はセメントスラリーと原地盤土を混練する際に、セメントスラリーに本工法専用の界面活性剤を適量添加し、界面活性剤の化学的な活性作用によりソイルセメントスラリーの粘度を低下させて改良体の品質の向上を図るものである。

本工法の適用範囲

項目	内容
適用地盤	粘性土地盤・ローム地盤・砂質地盤
施工深度	改良実長は根入れ分、空堀等含まず 8.0m 以下とする
改良体径	500mm、600mm、800mm、1,000mm



界面活性剤添加後のセメントスラリー



開発した試掘オーガ



開発した採取器

【開発の趣旨】

深層混合処理工法は土質の影響を受けやすく、攪拌時の混練具合が目視できないこともあって、従来の技術においては、攪拌翼の形状や施工管理の方法など、機械的な攪拌技術の開発が重視されていた。機械的な攪拌技術による場合は、土質によって施工時間を変える必要があり、攪拌しにくい土質の場合には長時間を要することがある。本工法の趣旨は、セメントスラリーに本工法専用の界面活性剤を適量添加し、その活性作用によりソイルセメントスラリーの流動化を促進させ、改良体の品質の安定化を図ることにより、施工能率を大幅に改善することが可能となる。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) 界面活性剤を添加することにより、ソイルセメントの初期流動性が向上し、改良体の均質性を確保することが可能であると判断される。
- (2) 開発された試掘オーガは、任意の深さから土質試料を採取することが可能であると判断される。
- (3) 開発された採取器により、任意の深さから未固化のソイルセメントスラリーを採取することが可能であると判断される。

【本技術の問い合わせ先】

- ・企業名：兼松サステック株式会社
- ・部署名：ジオテック事業部技術部技術開発課
- ・TEL/FAX：03-6631-6561／03-6631-6569
- ・技術紹介サイト

http://www.ksustech.co.jp/gt/work_h/h03.html